



2023年5月12日

各 位

会 社 名 芦森工業株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 鷺根 成行  
(コード：3526, 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役経営管理部門統括 鳥山 秀一  
(TEL 06 - 6105 - 1861)

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月12日に、プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

2023年3月末日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月末日時点におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」及び「1日平均売買代金」については基準を充たしておりません。

計画期間は現行の中期経営計画期間（2023年3月期～2025年3月期）としており、当該計画を達成することにより、上場維持基準適合を目指してまいります。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の 適合状況 及び その推移	2021年6月末日時点 ※1	36,776 単位	38.5 億円	60.7%	0.18 億円
	2023年3月末日時点 ※2	37,047 単位	52.5 億円	61.1%	0.13 億円
上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画書に記載の項目			○		○
計画期間			2025年3月末		2024年12月末

※1 東京証券取引所が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 東京証券取引所が各基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社グループは「第123～125期（2023年3月期～2025年3月期）芦森グループ中期経営計画」を策定し、その達成に取り組んでいます。当該中期経営計画の最終年度である第125期（2025年3月期）には、連結売上高60,000百万円、同営業利益2,700百万円、同当期純利益2,000百万円を達成し、1株当たり100円配当を実施し、3,000円超の株価、ROIC7%超を実現することにより、流通株式時価総額と1日平均売買代金においてプライム市場上場維持基準を満たすことを目指しています。

当社グループは、当該中期経営計画を達成するために、“新たな成長軌道への挑戦”と“体質改善の実行”を全社戦略に掲げ、各種具体的施策に取り組んでいます。

“新たな成長軌道への挑戦”としましては、成長市場である自動車分野と管路更生分野に引き続き経営資源を集中してまいります。自動車分野においては、豊田合成株式会社との協業を深化させ、両社の長所を結合させることにより、セーフティシステムとしてのコンポーネントの開発を推進し、事業の拡大に取り組んでまいります。管路更生分野は、老朽化した国内インフラの更新が見込まれることから、新工法の開発と下水道分野以外への展開を強化し、需要の拡大に対応していきます。

“体質改善の実行”としましては、人的資本の質の向上により企業価値を高めることを目指します。「芦森グループ人材 Vision」に掲げる「高い専門性と幅広い視野、論理的展開力を持った世界に通じる人材」を育成するため人事制度・教育制度の改革を進めると同時に、「サークル活動」を通じた「芦森グループ従業員行動規範」の定着及び実践により、高い規律と倫理観を持った企業グループへの変革に取り組んでおります。

本日公表の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」のとおり、連結売上高65,624百万円、同営業利益2,152百万円、同当期純利益1,017百万円となり、50円配当を実施します。業績の回復を受けて株価も上向いており、上場維持基準の適合に向けた取組みは着実に進捗していると評価しております。

### 【中期経営計画数値目標】

（単位：百万円）

	第123期 2023/3期 計画	第124期 2024/3期 計画	第125期 2025/3期 計画
売上高	57,000	57,000	60,000
営業利益	1,250	2,000	2,700
当期純利益	1,000	1,500	2,000

## 3. 上場維持基準適合に向けたその他の取組み

### （1）広報・IR活動の強化

株価向上を目指し、株主や投資家への積極的な情報発信による当社グループの認知地度向上に努めます。昨年秋には当社初の統合報告書「統合レポート2022」を刊行した他、個人投資家向けセミナーへの出展やオンライン会社説明会を実施いたしました。

### （2）サステナビリティ活動の推進

当社グループは、中長期的な企業価値向上のためにサステナビリティを重要な経営課題と認識し、「サステナビリティ委員会」を設けて取組みを進めております。当社グループは、「創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。」を社是（経営理念）に掲げ、自動車安全部品、防災関連資機材や物流省力化商品、管路更生事業等、「命と暮らしを守る製品」を提供してまいりました。引き続きSDGsと親和性の高い商品の開発を進めると同時に、徹底した省エネによる環境負荷の軽減、全ての従業員が働きやすい環境づくり、社会貢献活動への取組み等、「サステナブルなものづくり」を推進いたします。

以上